赤い鳥のこころ（1979）

メディア TV　アニメ
ジャンル
製作国 日本
TV放映 1979/02/05 ～ 1979/07/30
テレビ朝日

【解説】
大正から昭和初期にかけて刊行された童話と童謡の児童雑誌で、児童文学界に大きな影響を与えた「赤い鳥」。その精神を現代に伝える目的で製作された、当時の童話や児童文学を元としたオムニバスのTVアニメシリーズ。ろうそく職人の老夫婦が浜辺で人魚の赤ん坊を拾う。可愛い少女に成長した人魚は、育ててくれた夫婦への恩返しにとろうそくに可憐な絵柄を彩色。不思議なことに、人魚が絵を描いたろうそくを灯した船は、どんな嵐の中でも決して遭難しなかった。評判を聞いた人々は人魚のろうそくを買い求め、欲に目がくらんだ老夫婦は人魚に無理をさせる。やがてある日、人魚は不吉だと嘘をつく香具師が老夫婦の前に登場。香具師は人魚を買い取ろうとするが……（第11話「赤いろうそくと人魚」）。テレビ朝日開局20周年記念番組として放映され、複数の実力派アニメスタジオが実製作に参加。木下恵介や松山善三などの巨匠たちもシナリオを執筆した。

【クレジット】
監督 矢吹公郎
椛島義夫
作画監督 楠部大吉郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.